

4 学校関係者評価**【学校経営】**

- ・ 交通事故及び学校内外での生徒職員の事故防止には日頃より緊張をもって細心の注意がなされていると思います。先生方の資質も素晴らしく、情報を共有し熱心に指導され、保護者の方々からの信頼も厚く好評を得ておられます。幅広く地域と交流、ボランティア活動に積極的な生徒へのサポートも素晴らしいです。(竹内)
- ・ 降雪時の対応等迅速に行われていたと思う。いろんな行事に職員も積極的に参加してもらい良かったと思っている。ボランティアの活動も活発で地域に開かれた取組だと思う。(菅原)
- ・ 生徒・保護者・先生・地域が一体となった四方良しの経営がなされていると思う。(大橋)
- ・ 学校安全講話での意識高揚により、違反ゼロや職員の心肺蘇生法の訓練、それに講師招聘による校内研修や校外研修の情報共有の充実など良かったと思う。また、保護者の学校行事への参加が特に目立ったし、「河高だより」等での広報も良かった。(小川)

【学力向上・進路指導】

- ・ 基礎学力の向上、読書推進にもいろいろと工夫され、毎年課題となっている家庭学習は生徒、保護者のアンケートでも改善の兆しが見られます。進路についての話し合いを真剣にされ、生徒の進路希望達成に向け努力されているようです。早めに生徒自身が目標を定めることで学習意欲も違ってくると思います。(竹内)
- ・ 「毎日学習をしている」の項目が昨年より上がってはいるが、52%とまだ、十分だとは言えない。卒業生等の人脈を生かし、生徒の心に届くような講演会等企画している。特訓講座の開催には特に感謝している。(菅原)
- ・ 図書室の利用をもう少し進める手立てを考える。他についてはいいのではないかと。(大橋)
- ・ DT テストの継続、朝の読書の定着、課外授業や特訓講座を実施し、学習意欲の喚起による充実した時間が確保出来ている。ただ、先生方に熱心なご指導をいただいているのに、生徒は毎日家庭学習をしている数値が36%と少なく、やる気を出してほしい。(小川)

【生徒指導】

- ・ 本来、家庭で養われるべき基本的な生活習慣の確立も、先生方が共に行動し基本的な模範となられてもいい成果が得られていますが、家庭にも呼びかけ、協力を得られればと思います。自分の子供が社会に出て苦勞をしないためにも・・・。(竹内)
- ・ あいさつ等でできていると思う。ただ、昨年より保護者の評価が下がっている。(菅原)
- ・ 基本的な生活習慣、交通道徳、美化意識ともどもよくできている。(大橋)
- ・ 登下校中の挨拶が良く、河高生の清々しさを感じるし、交通マナーも出来ていると思う。特に、ボランティアは市の催しにも参加していただき、住民からも評価をいただいている。(小川)

【人権教育の推進・いじめの防止等】

- ・ 学校生活、家庭生活で気になる変化が見られないか等、保護者にも注意して観察をお願いしたいです。(竹内)
- ・ 心のアンケートなど、積極的に生徒の現状把握に努めている。(菅原)
- ・ 先生方の研修、そのフィードバック等もよくできていると思う。(大橋)
- ・ 人権標語作成や心のアンケート実施により生徒の現状把握に努めるなど、人権意識への高揚を図られている。(小川)

【命を大切に心を育む指導】

- ・ 各種講話、講演会の実施により自尊感情をもつことの大切さに気づくことができいい成果が得られたと思います。(竹内)
- ・ 講話など実施し、心を育む指導に努めている。(菅原)
- ・ 講話・講演などを通じて、生徒への啓蒙が出来ている。(大橋)
- ・ 各種の講話、講演会は予定とおり実施され、自分は元より他人も大切にすることを育む指導をされていると思う。(小川)

【いじめの防止】

- ・ いじめの未然防止の講話、心のアンケート、二者面談の実施、SSWからの助言や、生徒からのいじめ防止提言など、あらゆる手立てを駆使し現状把握に努められています。いじめを感じた生徒への解決に向け、継続的に観察をお願いしたいと思います。（竹内）
- ・ 対策は講じているが、結果として「感じている」人がいる状態では「十分に達成出来ている」とはいえない。（菅原）
- ・ カウンセラー、アンケート、外部の意見、今後も未然防止に努力してもらいたい。（大橋）
- ・ 深刻ないじめはなかったようだが、感じた生徒がいた。しかし、心のアンケートでは、88%が防止する取組みを行っているという高い評価があり、今後の指導の見直しが必要と感じた。（小川）

【特別支援教育】

- ・ 支援の検討について、課題となることをよりよい方向に解決できるように、連携して頑張ってください。（竹内）
- ・ キャリアサポーターの助言などをもとに、今後も支援の継続、強化をお願いします。（大橋）
- ・ 進路決定には、職場訪問やハローワークとの連携などおおむね達成出来ていると思う。（小川）

【特別活動・部活動】

- ・ 生徒朝会の内容が、各種表彰や委員会の工夫された発表に加え、先生方の体験談など、とても充実していると思います。学友会を中心に、本年の体育祭、秋華祭、共に幅広い年齢層で参加し、楽しめる企画が満載で盛会でした。又、各部活動も少ない部員数でも積極的な活動が素晴らしい成果を得られ良かったです。（竹内）
- ・ 少ない生徒ながらアイデアを出し合い積極的に活動している。部活についても同じである。（菅原）
- ・ 生徒会、部活に充実した時間を過ごしてもらいたい。（大橋）
- ・ 生徒会も生徒主導で積極的な取組みで充実した活動が出来ている。また、部活動は新入生がいないなか、メディアで取り上げられるなどもあり、成績も成果が見られたと思う。（小川）

5 総合評価

【本年度の学校教育目標】

地域や保護者に信頼され、生徒や職員が誇りに思う学校づくりを目指す

- (1) 生徒が河浦高校に来て良かった。保護者が河浦高校にやって良かった。職員が河浦高校に勤めてよかった。そう思える学校づくりを目指す。
- (2) 校訓「創造」「至誠」「勤勉」をしっかり身につけさせ、社会に貢献できる有為な人材の育成を目指す。
- (3) 生徒一人ひとりに夢と希望を育み、全生徒の進路第一希望実現を目指す。
- (4) 人と人との絆を大切に、一人ひとりが輝き、楽しい学校づくりを目指す。

- (1) については、「地域に根ざした学校づくり、学校行事の充実」などの目標を挙げ、地域と一緒に取組や工夫を凝らした学校行事を取り入れたことで保護者や地域の方々から高い評価をいただいた。
- (2) については「当たり前のことが当たり前にできる、基本的な生活習慣の確立、交通道德の定着、美化意識の向上」などの目標を掲げ取り組み、全般的には評価が良かったが、交通違反が4件出たことが残念であった。次年度の課題である。
- (3) については「進路講座、進路説明会の充実、個別面談の実施、インターンシップ実施、個別指導の充実」などを目標に掲げ取り組んだ。ほとんどの生徒の進路第一希望は達成できたが、支援が必要な生徒の進路決定が年度末までかかり指導の難しさを感じた。今後の課題である。
- (4) については、「主体的な生徒会活動の推進」を掲げ取り組んだ。学校行事等の場面で生徒が発表や活動をする場面を多く設定したため、生徒一人ひとりが輝き、楽しい学校づくりができたと思う。

【本年度の重点目標】

8つの重点目標を掲げ取り組んだ。全体的に高評価であり、おおむね目標を達成しているが、学力向上と生徒指導（社会でのマナー・携帯電話使用）に関して多少改善が必要な箇所が見受けられた。

【自己評価総括表に対する評価】

評価の観点は23項目。

Aは8項目（①学校事故発生時の的確な対応、②職員の資質向上での教材研究と指導法、③地域に開かれた学校での広報活動の充実、④キャリア教育での自己実現のための取組、⑤インターンシップの充実、⑥進路希望達成の個別指導の充実、⑦基本的生活習慣の確立、⑧主体的な学友会活動の推進）。

Cは2項目（①公開授業の充実、②特別支援の個に応じた指導の充実）

他の項目は、すべてBであった。

意見・感想

- ・ 私自身、久しぶりに河浦高校に係わられることができ、大変嬉しく思います。生徒や先生そして保護者、地域の皆様の河高への思いや各取組みへの頑張りが閉校を前にして、今まで以上に「まとまり」と「あつい」ものを感じます。「河高伝説」を確実にひとつずつ築いていることを心強く感じます。（小川）
- ・ 保護者からの学校評価アンケートでのたくさんの意見の殆どが、我が子が河高の生徒で良かったと先生方への感謝の気持ちが述べられていました。本当にその通りだと思います。それが故に、保護者の協力も素晴らしかったと思います。転任なさった先生方が行事の際に訪れ応援される姿も河高を愛して下さっている証拠だと思います。来年度も全ての方々に盛り立てていただきたいと思います。（竹内）
- ・ あと1年、四方良しの経営を応援します。（大橋）
- ・ 少ない人数ながらアイデアを出し合い活動しています。今後も、大変ですが私たちも頑張りますので、最後の仕上げをしましょう。（菅原）

6 次年度への課題・改善方策

【課題】

1 学力向上

本校の例年の傾向ではあるが、家庭学習の時間が少ないというアンケート結果が、保護者、職員、生徒から出ており、今後も生徒の進路意識の向上と具体的な取組が必要である。

2 社会に通用するマナーの体得

保護者からは高評価を得ていたが、職員からは「社会に通用するマナー」や「交通マナー」についてのポイントが低かった。特に交通違反については命に関わることなので根気強く指導していきたい。また、社会のマナーについても折に触れて指導していきたい。

3 公開授業の充実

公開授業は例年11月の第2週頃に実施しているが、近年の参観者が10人程度である。原因としては、平日なので保護者の参加が難しいこと、他校から遠距離にあることなどが考えられる。

4 特別支援の個に応じた指導の充実

個別の指導計画に基づいて取組を進めているが、学期の評価に数名だけが携わり、多くの教師が参加できなかった。

【改善方策】

1については、生徒の意識を高めることが必要と思われるので、進路に関する講話や職業セミナー、進路ガイダンス、進路資料の提供など引き続き継続的にやっていく。また、家庭学習調査の分析を行い、面談等で指導していく。宿題のチェック機能を強化することも一つの方策である。

2については、交通講話、原付通学者講習会を引き続き実施し、生徒朝会、学年集会、ホームルームなどで折に触れ、社会での礼儀、マナーの大切さの話を根気強く話していく。

3については、開催時期の変更、土曜日曜の開催、保護者へ広報等を通じて周知し、教職員については他校へ直接に出向いての方法なども検討していく。

4については、アンケート等を通じて多くの職員に支援の手立てのアイデアを出してもらい、それを評価に活かしていく。